

平成 30 年度 夏期ドイツ語研修報告書

経営学部経済経営学科 1 年 酒井絢香

私は以前からヨーロッパに留学したいと思っており、この留学に参加しました。しかし、私にとっては初めての国外な上、事前準備の段階で「海外は治安が悪い」と散々言われて、少し怖いという思いもありました。ところが、実際に行ってみるとそれほど治安が悪いということはなく、安心して勉強できる環境でした。

授業について

ウィーン大学についたら、初めにプレースメントテストを受けて、その成績で授業を受けるクラスが決まります。そのため、高度なクラスに入るには事前学習が重要です。

より高いクラスほどドイツ語だけで授業が行われ、下のクラスは英語でドイツ語を説明する、といった授業でした。

しかし、一番下のクラスでも十分に学ぶことがあったため、現地についての授業をしっかり受けることが最も大事だと思います。

また、クラスメイトは出身国も年齢もさまざまです。たくさん話してみると、色々な考えや知識を知ることができ、楽しいと思います。

自由時間について

自由時間には、ぜひ博物館や美術館、宮殿、オペラなどに行ってみてください。ヨーロッパの文化を感じられ、さまざまな教科への興味にもつながると思います。

18 歳以下は入場無料というところも結構あるので、1 年の 9 月はまだ 18 歳だという方は、1 年生の内に留学に行くことをお勧めします。



また、現地の有名な食事を食べてみるのはもちろんですが、スーパーやファーストフード店に行ってみることもオススメです。メニューや値段の違いによって、ヨーロッパの風

土が感じられると思います。



実際に行って気づいたこと

研修では、もちろんドイツ語が身についたのですが、現地での日常会話でドイツ語をあまり使うことができず、ほぼ英語で生活してしまいました。現地でドイツ語を使って生活し、授業も英語を使わずに受けるには、事前学習でしっかりドイツ語を使えるようにしておくのが重要だと思います。

また、クラスメイトとは、言語の話や子供の名づけ方の話など、色々な内容について話したので、英語を使って色々な内容を話せるようにすることも重要だと思います。

何よりもこの研修で身についたのは、人とのコミュニケーションを恐れずにとることです。知らない人に話しかけるのは怖いかもしれませんが、話しかけてみると親切な方が多かったです。

私はこの3週間の研修で、ドイツ語を学ぶだけではなく、ウィーンの文化を感じ、色々な国の人の考えも聞くことが出来て、とても有意義な時間を過ごせました。

皆さんもぜひ、この研修に参加してみてください。